

白門四八会

中央大学学員会白門48会会報28号
(題字：故 中央大学総長 高木友之助先生)

28

発行日：平成30年4月1日
発行人：山口隆司
発行所：中央大学学員会白門48会
東京都千代田区神田駿河台3-11-5
中央大学駿河台記念館学員会事務局
TEL：03-3219-6175
印刷所：(株)ディスカバリー

記念の年 新年会からスタート



20周年のスタートを切る新年会に集まった皆さん



白門48会 創立20周年目を迎えて

白門48会会長 山口隆司

48会の皆さまこんにちはは、お元気で過ごさうでしょうか。私は会長就任以来早くも丸4年を迎えようとしておりますが、皆さんに支えてもらいながら、あつという間の時間だったよう

な気がしています。さて、皆さまご承知でしょうか、今年には48会創立20周年で、卒業45年の年という節目の年に当たります。結成の準備会から始まり、第一回の総会が行われ

てから早くも20年が経とうとしています。当時10数名の有志から始まったこの会も現在では会員数400名規模の会になりました。かく言う私はその当時設立の動きすら知らない人間でしたが、その後参加するようになり、温かく迎えられることからこの会に恵まれ、楽しい時間を過ごすことができました。

現在は記念行事を幹事の方と盛んに練ってるところですが、なんといってもメインは記念総会と記念会報と思っております。記念総会は6月9日(土)に例年通り新宿の小田急ホテルセンチュリーサザンタワーで行います。この日には記念講演を準備しておりますので、参加者も例年からの倍増の80名程度を目指しております。是非多数のご参加と他の方への声掛けをお願いしたいと思います。

記念会報については大幅な充実を図り60ページ規模で秋ごろの発行を計画中です。多くの仲間からの寄稿文や懐かしい写真、皆さんの興味が尽きない箱根駅伝の関連記事も載せたいと準備しております。是非楽しみにしてください。これ以外にも記念旅行や恒例の行事なども検討中です。1月25日には20周年記念事業のイベントとして新年会をグランドヒル市ヶ谷において開催いたしました。また、10月7日(日)にはホームカミングデーが多摩校舎で開催されます。初めの方も大歓迎です。多くの方が集い、親交を深める機会にしたいと思っておりますので、いろいろな企画へのご参加よろしくお願いたします。

最後に皆さまのこの一年のご健勝を祈念して挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

平成30年 白門48会新年会を開催

白門48会幹事長 佐藤 愛子(文卒・八王子市在住)

今冬でも初水点下になった1月25日(木)18時からグラントドビル市ヶ谷「芙蓉の間」において平成30年48会新年会を開催した。同期生の酒井総長や瀬川学員会副会長はじめ28名の参加者があった。

20周年記念事業のスタートとしての新年会は幹事長佐藤の司会進行により、山口会長の20周年



瀬川学員会副会長の音頭で乾杯



年頭の式辞を述べる山口会長

年に向けての力強い挨拶で始まった。

当会場は酒井氏が総長学長に就任された時、48会会員を中心に有志の方々による祝宴を開催した思い出の場所である。その後3年間で大内外でご活躍された酒井総長学長のご挨拶では、箱根駅伝や新学部申請(2019年国際経営学部新設)ほか中大の現況についてお話を頂いた。



最後はみんなで肩を組み



酒井学長も参加しての二次会

瀬川副会長による学員会報告と乾杯ご発声の後、お二人をはじめとして各テーブルを自由に移動しながら交流の輪が広がり、アルコールも手伝った懇親会場は熱気に包まれた。

途中、箱根駅伝応援団長の新倉氏、井沢氏から中大駅伝に関する想いや新人獲得など今後の

中央大学白門48会宮崎支部懇親会

白門48会九州支部長 橋本 博(経卒・宮崎市在住)

九州支部宮崎県では平成30年懇親会を開催しました。今年に入りまだ2月というのに3回目の集まりです。宮崎支部では「会員間の連携はまずは話し合いを数多く持つこと」を理念にしており、正月懇親会、月一ゴルフ懇親会、魚釣り好きな支部長が釣る大分県関アジ・タイ試食懇親会などすぐに集まる体制づくりを整えています。会は関係者35名の集まりになりました。

今回は、学員会が宮崎県弁護士会会長に就任すること、昨年同じく会員が宮崎県公安委員長に就任したことを祝う会を、宮崎48会会員が代表となり設定しました。48会員の弁護士田中寛君はじめ谷口、加々美、橋本が中心となり大先輩、後輩方に声掛けをした結果、多くの白門関係者が集まりました。酒井正



二つの就任祝いを同時に開催した懇親会

駅伝展望のお話、久々参加の大橋氏からは次回友人を連れて参加したい嬉しい宣言、小田氏による経・商学部ゼミ学生によるOBへのプレゼンテーション大会案内、1年前にスカウトされ歌手活動を始められた大森氏のデビューにまつわる話があり、鈴木実氏リードによる駿河台時

代の懐かしい神田節を歌い、会場に響き渡る國領応援団長の久々のエール復活(中大一の美声)に聞き惚れた後、応援歌を全員で合唱。集合写真撮影後、大盛況のまま閉会となった。飽き足らないメンバー17名は同会館の二次会で疲れも知らず交流を深めたそうである。

で感謝いたします。

また、2月18日からは硬式野球部宮崎キャンプが始まり全国より多くの中央大学関係者が宮崎に集まります。その中には硬式野球部OBや全国父母連絡会関係者のメンバーもあり、中央大学一色の宮崎が展開されます。ありがたいことに、毎年宮崎において硬式野球部春キャンプを開催することで4月よりの東都リーグ戦を迎える実力を備えるといわれています。48会メンバーは、練習会場への応援や懇親会への参加を通して硬式野球部関係者との交流を通じ、中央大学との繋がりをさらに深めています。

今回の懇親会参加者には、中央大学評議員、支部長、前支部長、役員など実に多くの学員会関係者に参加していただき会は大変盛り上がりしました。母校愛は同志の集まりにあり、九州48会はその礎になるべく日々努力しています。

嵐の中でも熱いホームカミングデー

白門48会副会長 榎本真一(文卒・横浜市在住)

平成29年10月22日、中央大学多摩キャンパスで第26回ホームカミングデーが開催されました。白門48会は、会の行事としてこのイベントに参加しました。

当日は、悪天候につき48会が新宿中村屋のカレーで出店を予定していた模擬店もすべて中止。セントラルプラザに陣取る予定であった懇親会場はヒルトップ(学生用レストラン)へ移されました。そのほか、福引抽選会や各支部幟旗が大集合する、中央の絆も会場が9号館に変更されました。

10時からは9号館で式典が始まり、同期の酒井総長学長の格調高い挨拶ののち、第二部では白門音楽会が開催されました。中央の歌が次々に披露され、会



音楽の祭典となったホームカミングデー

場内は歌声で満たされました。カレーショップは中止となりましたが48会の仲間以外の嵐も何のその。次々にヒルトップに集まり、午前中から「飲みや語れ」のハイテンション。「新政」や「いいちこ」で乾杯、「すしざんまい」の寿司を頼りました。

秋元康氏の講演や、箱根駅伝応援企画なども楽しみました。二次会は恒例の高幡不動「やるき茶屋」。疲れを知らない飲みっぷりで、夜の更けるのも忘れるほどでした。

活動報告

2018箱根駅伝を振り返って

井沢 和夫
(商卒・横浜市在住)

復活の足がかり

来年こそはシード権

「今年は皆さんの顔が明るい。2年前とは大違いです」と語るのは、かつて、8区で区間賞を取った奥田君。これは2年ぶりに開かれた往路の後の昼食会の一コマです。今年の参加者は22名。前述の奥田親子や46会の伊藤夫妻、静岡から駆け付けた石



箱根大平台の48会応援団、円内は5区走者畝選手

川氏など懐かしい面々が集まりました。確かに往路は10位とシード権を狙える位置にありました。しかし、その場に居る誰もが明日の復路に期待とともに不安を持っていました。そして復路はその不安が的中。経験不足と選手層の薄さを露呈し6区の遅れが最後まで響き、結果は総合15位に終わりました。

しかし、私は悲観ばかりしていません。この苦い経験が必ず生きてくるし、何より有力高校生のスカウティングに成功し、来年は選手層の大幅アップが期待できるからです。

予選会は史上最大の激戦

とはいえ、今年の予選会は、駒沢・神大・順天・山学など優勝経験校が軒並みシード権落ちし、さらには明大・日大・創価など有力校も控え、大変な激戦になる事は明白です。また、来

年は95回で記念大会ですが90回のように3校増枠はありません。関東インカレの総合1位しか特別枠はありません。これから、半年間が勝負です。関東インカレ、伊勢駅伝予選会、夏の合宿を経てロードに強い選手育成に期待しましょう。



立川予選会での48会応援団

野毛でぶぐを食べる会

水野 勝敏
(商卒・横浜市在住)

12月26日、グルメ同好会の年末恒例行事となった「ぶぐの会」は今回で4回目、12名の参加で開宴しました。なにせ場所が横浜よりさらに先の桜木町の野毛という飲み屋街で夕方からの開宴とあって、東海林ご夫妻は山下公園近くの老舗ホテル・ニューグランドに宿を用意、46会の伊藤先輩ご夫妻は遠路はるばる千葉から参加していただきました。



ぶぐとカニを食べてこの笑顔

肉厚のてっちり、てっさ、香ばしいひれ酒は相変わらずまいらう、前菜代わりのズワイガニ、メのぶぐ雑炊も相変わらず美味。結果を知る由もない駅伝予選会3位通過の喜びと、48会設立20周年行事成功を願って宴会は最高潮、3時間はあっという間に過ぎていきました。

ある記事に、認知症は食べ物を簡単に済ませたり、人と話す機会が少なくなるとリスクが高まるとありました。私は年を重ねる毎に世間が狭くなっている感じが不安で、なるべく外に出かけていくことを心がけています。特に青春真っ只中だった時期と同じキャンパスにいたであろう、卒業後知り合った48会の仲間とのイベントは大切にしようと思っています。あなたもB級もやるグルメ同好会、年末ぶぐを食べる会に参加しませんか？ お待ちしています。(グルメ同好会会長補佐見習)

ぶらり散策の会に 参加するの記

東海林 正
(法卒・杉戸町在住)

平成29年9月18日、台風18号が足早に北上していった後の外気温34度の敬老の日、サントリー武蔵野ブルワリーの工場見学会の顛末です。

集合は分倍河原駅、12時20分、ビール泡の香りに魅せられし初老、中老男女5名は、ごく当たり前の顔で工場の巡回バスに乗り込みます。13時よりご案内の美女に引率されて真面目な工場見学です。20余名の集団は真面目に次のモルツ3種の飲み比べ、試飲会に突入であります。

1963年創業の工場の製品の遍歴なども学習いたしながら、

サンクト・ペテルブルグ とモスクワの旅

小林 裕ゆたか
(文卒・江戸川区在住)

7月19日～23日まで、ロシアを訪問した。主な目的は、念願だったエルミタージュ美術館の見学だった。阪急のツアーで、ロシアは初めてのため、ビザが必要で、取得は依頼した。

7月19日成田、12時発、モス

軽く3種類のモルツビールを味わいました。出来上がったばかりのプレミアムモルツの、のど越しはさすがで、一同満足の様子でありました。帰り際のおみやげレジの盛況さといひ、看板を持った記念サービスの撮影補助といい、サントリーの宣伝上手は相変わらずでありました。プレモルのリニューアル発売が2003年とのことであるから、

サントリーがビールの赤字に悩まされた期間は、30年にもなるのかと思うと経営者、製造者の諦めない気迫を感じますね。

無事3杯のビールで下地を作り、15時以降は、遅れて参加の会長、副会長を待って、二次会に突入です。日本酒バルでの中大恒例の談論風発、言いたい放題で、静かに夜は更けていくのであります。

クワ経由で、12時間かけ、サンクト・ペテルブルグに到着した。ホテル名は、ドボルザーク。すぐに寝た。ホテルには、何故かドイツ人の客が多かった。

7月20日早朝、ホテルの目の前の教会を見たり、街を散歩した。8時半にバスで出発した。気温は、日本より3度ほど涼しく過ごし易い感じだ。宮殿広場、聖イサク教会、イワン大帝の騎馬像でエカテリーナ女帝が作った青銅の騎士像、血の上

白門48会ゴルフコンペ

佐山 洋一
(経卒・足立区在住)

3月13日埼玉国際ゴルフ倶楽部で、倶楽部主催の幹事さんゴルフコンペに乗っかり隠しホールを変えて白門48会冬季ゴルフコンペを実施した。

当日は、最高のゴルフ日和だったが、横浜方面からの参加者が海老名ジャンクションで事故渋滞にはまり、スタート時間に間に合わない状態になったが、ゴルフ場の配慮により到着次第スタートすることになった。

当初の時間より40分遅れでスタートすることができ、気温が高く防寒着は必要ないのであるが、参加者の多くが花粉症患者、ゴルフ場の周りは杉林、風もなく穏やかな日和であつても、「ハクシヨン」とくしゃみをしたり、せつせと鼻をかんだり、なかなかゴルフに集中出来なかつたのかスコアがいつもより悪いようだ。

朝10時にスタートし、夕方4時過ぎに最終組がホールアウトした。我々は遅れてスタートした為、風呂にも入らずパーティー会場に入った。

会場には多くの方が、飲み始めていたが120名の参加者がいたのだから、我々のスコア



戦いすんでこの笑顔

カードを集計しなければ表彰式は始まらないのだから、長く待っていて飲むのも仕方がない事であつた。(前回の我々も8時スタートだったので、早くから飲んでいました。)

表彰式では、賞品は優勝から10位その後は5飛賞で我々は12名だから確率的には2人貰えるだろうと考えていたら、蓋を開けてみると、東海林さん・東海林夫人・井沢さん・井上さん・鈴木さんそして私の家内と、我々は参加者の半分の6人が賞品をゲットした。それぞれ、仲間の名前が呼ばれるたびに、声を上げ、拍手をして盛り上がった。

白門48会の部では、鈴木さんがネット72・4で優勝、山口会長がネット74・0で準優勝、そして、東海林夫人がネット74・8で第3位であつた。

今回はセットしなかつたグロスでは、山口会長がトップであつた。

ラグビー部激励会

金子 健治
(法卒・杉並区在住)

毎年恒例のラグビー部激励会を、監督・コーチ2名・選手2名の参加のもと行いました。監督は3年連続での参加で、毎回熱弁を奮って熱い想いを語ってくれます。

この会も8回目、監督も就任8年目で両方並べると88になり、人間で言えば米寿のお目出度い数字となります。昨年の春先は、思いもよらぬ部内麻疹発生で、ひと月半練習や対外試合が禁止され出鼻を挫かれましたが、今年には88に因んで勝利を重ね、文字通りお目出度い年にして貰いたいと願っています。

3月中旬には新人も加わり新たなスタートを切りますが、選手達には怪我等なく全員揃って秋に備えて頑張ってくれることを期待しましょう。



激励会参加者



華麗な教会を背に

の教会を見学した。続いて、エ
ルミタージュ美術館の本館を見
学した。午後は別館も見学した。
エルミタージュは、仏語で「世
捨て人の部屋」の意味で、ロマ
ノフ朝の冬の宮殿5つからな
り、エカテリーナII世のコレク
ションから始まり、イタリヤ・
ルネサンス、印象派から多岐に
渡るヨーロッパのキリスト教絵
画が多い。1990年に世界遺
産に包括登録された。展示物の
あまりの多さに驚いた。美術館
の売店で、美しい教会の描かれ
た大きめの絵皿を3枚購入した。
ユーロ紙幣が使用できた。日本
の千円札も歓迎だそうだ。空は、
何処までも青く、平和な感じ
だ。途中、イギリス人のお婆さ
ん達の一行とすれ違くと、中国
人か聞かれ、日本人だと答える
と、何故か、拍手された。夕方、
マトリョーシカを買いに街に出
た。街行く人々も落ち着いた様
子で、道を聞くと親切に教えて
くれた。書店の店員と一時間ほ

ど様々な世界情勢を英語で話し
た。食事の度にウオッカを注文
した。ウオッカは、癖が無く飲
み易い。土産のマトリョーシカ
は、3体ほど買ったが、どれも
可愛らしい姿をしていた。何で
も、元は、日本のこけしを模し
たものだろうだ。

7月21日9時バスで、プーシ
キンのエカテリーナ女帝の夏の
宮殿に行った。次にペテルゴフ
に行き復元された「琥珀の間」
も見た。本物の「琥珀の間」は、
第二次大戦中にドイツ軍に持ち
去られ、破壊されたそうだ。さ
らに、ピョートル大帝の夏の宮
殿の庭園も見た。その夜、空路、
モスクワへ移動した。ホテル名
は、セリゲルスカヤと言った。
7月22日クレムリン観光へ向
かう。武器庫、ウスペンスキー
寺院、赤の広場、グム百貨店、
聖ワシリイ寺院を見学した。道
の周囲には、様々な屋根の形を
した教会が至る所に点在し、ま
るでお伽の国に迷い込んだよう
な錯覚に襲われた。クレムリン
の近くには、一部が欠けた大き
な金金の王様、大きな大砲「大
砲の王様」が展示され、多くの
観光客を集めていた。夜、空路
成田へ。

7月23日午前10時35分無事帰
国した。日本の報道とは違い、
ロシアは、平和そのもので、治
安もかなり良い様だった。

多摩川レガッタ参戦記

長谷川 孝雄
(理工卒・戸田市在住)

昨年(2017)11月5日、
前年に続いて多摩川レガッタに
挑戦してきました。参加希望タ
ル多数の為、抽選となりまし
たが運良く2回続けての当選で
す。この年、台風21号の影響で
河川敷は冠水し、栈橋や用具箱
等が流されましたが、現地の皆
さんの復旧作業で大会開催にこ
ぎ着けたとの事。感謝、感謝で
す。

多摩川レガッタは手作り感満
載の楽しい大会で、ガス橋を
ゴールに上流300mがコース
です。ガス橋の最寄駅は東急多
摩川線の下丸子。9時15分の開
会に間に合うためには皆さん、
結構早起きをしたようです。

我が「チーム48会」は、バウ
山口(ボートの先頭、以下順に)、
2番榎本、3番長谷川、ストロー
ク高子の4名の舵手にコックス
も昭和48年卒業の柴崎(48会に
は未加入との事)のオール48組
です。平均年齢では参加クルー
中、最高齢だったのではないで
しょうか。

朝から横風が強く、艇が横を
向いてしまうなどコントロール
が難しく、艇をスタート位置に
つけられないクルーが続出して



全員揃っての練習、戸田ポートコースにて



レース前の雄姿

30分遅れのレース進行となりま
した。レースは3艇で競い、午
前と午後の2回を漕いで、その
合計タイムで勝敗が決まります。
午前は強い引き潮に横風、午
後は風も穏やかになりましたが
満ち潮でオールが重く、日ごろ
の成果を発揮するまでには至り
ませんでした。年齢ハンデが
あれば……という結果でした
(順位は敢えて書きません)。
帰りに下丸子近くの中華料理
店で反省会を行い、来年の健闘
を期して解散となりました。

俳句コーナー

三橋 隆選
(文卒・成田市在住)

俳句コーナー担当の青森県出
身で文学部(英文)卒の三橋です。
よろしく、お願いします。

まず、長野県佐久市在住の上
原秋雄氏(文学部卒)の投句を
紹介します。

首筋を そつと撫でゆく 初夏の風
【評】
体がまだ暑さに慣れない初夏、
暑さで汗ばんだうなじは、や
や涼しく柔らかなそよ風の「初
夏の風」に心地よさを覚えます。
「そつと撫でゆく」のリアルな
表現で「初夏の風」が肌感覚で
伝わってきます。初夏の暑い折
は「初夏の風」に吹かれ、柔ら
かな涼しさを実感したくなる秀
句です。

さらに、三句、上原秋雄氏の
投句を紹介します。
幸ひとつ 抱きて 春の散歩道
老婆と たった二人の 墓参り
禅寺に 読経流るる 初秋かな
次に江戸川区在住の小林裕
氏(文学部卒)の一句を紹介し
ます。
春暁や ふと外見れば 日は中天に

最後に、私、三橋隆の拙句を
掲載いたします。
夕暮れや 花の純白 薄まりて
あじさいや 青と緑の 涼香る
冬木立 裸で空を 突き上げて



秩父夜祭体験記

三森 孝悦
(理工卒・小平市在住)

昨年11月に「秩父夜祭に行かないか？」と誘われたのは、榎本さんからだった。

「秩父夜祭か」と最初思ったのは、数年前行った時の人混みと帰路の慌ただしさ、混雑が思い出されたからだ。しかし凛とした冬の夜空に打ち上げられる花火は祭りのフィナーレにとて綺麗だったとの思い出も蘇った。次の瞬間に、榎本さんからは「見るのは棧敷席だし、一泊でいいよ」との言葉！これには、もう躊躇うことなく「行く！」と即答。

さて、祭りの当日12月3日は冬晴れの最高の天気！一緒に行くことになった 坂本さんや島崎さん（島崎さんは急遽池袋で見送り）たちとは、事前に手配しておいた池袋発の「レッドアロー号」で一路秩父へ！天気の良さもあり、車内ではアルコールの影響もあって、祭りへの期待は高まり、90分ほどの旅路はあっという間だった。

西武秩父の駅に着き駅前広場

に出るとビックリ！人、人、人。それもそう、この秩父の夜祭は300年も続く祭りで、「京都祇園祭」「飛騨高山祭」とともに日本三大曳山祭りに数えられ、2016年にはユネスコの無形文化遺産にも登録された祭りですものね。

秩父祭りは屋台と呼ばれる山車が4基、笠鉦が2基の計6基からなっていて、「動く陽明門」と言われる程の豪華絢爛さゆえ、人が集まるのも当然。この日も35万人もの人が集まっていたそうだ。

我々は、取りあえず榎本さんと合流するために人をかき分け、秩父神社に向かった。この秩父神社の禰宜さんに榎本さんのご親戚の方がいて、棧敷席が確保できたそうで、ラッキーだった。秩父神社で禰宜さんにご挨拶をすると、境内には山車が1基停っていてこれを見ながら、榎本さんから秩父神社の説明を聞

き、場所を変えて、穴場の居酒屋で秩父名物のわらじカツをつまみに秩父の銘酒でいっぱいやりながら、夜のクライマックスまでを待った。

揺らめく姿はこれぞ夜祭という眺めである。さらに、これのバックに羊山公園から打ち上げられる7000発のスターマイン花火が彩を添え、圧巻の絵巻物的光景を見せる。



御旅所に集まった山車と大型花火

12月の底冷えする秩父も、この光景と、棧敷席で売っている暖かい飲み物（お酒）や食べ物でお腹も、心も満喫状態。周りの大混雑状態とは隔離され、目の前に広がる山車の行列と、山車から響き渡ってくる秩父太鼓の音色に、夜空を染める花火と秩父の山々に反響する花火の音！今回の秩父夜祭は感動の連続だった。

この「御旅所」に辿り着く手前に、「団子坂」という急坂がある。この坂を12〜20屯もの山車が人力で引き上げられる最大の見せ場とともに、辿り着いた山車が一堂に集まって、提灯が

榎本さんのご配慮で、今はお留守の秩父のご実家に泊めていただけ、大混雑の道路も、電車も関係なく感動の余韻に浸りながら夢路につけた。

「三峯」とは神社の東方にそびえる、雲取山、白岩山、妙法ヶ岳の三つの峯が美しく連なることから呼ばれている。1900年も昔に日本武尊（やまとたけのみこと）が国産みの神様を祀ったのが神社の始まりとされているようで、荘厳な雰囲気の中で参拝を済ませ、広い境内を散策して、再び西武秩父の駅へと向かった。榎本さんとはここでお別れし、私たちは西武秩父駅前にてきた「祭りの湯」という温泉に浸かり、昨夜の秩父夜祭、今朝の三峯神社の参拝と、充実した素晴らしい二日間を心に刻みながら、帰路についた。

第20回総会のご案内

20周年の記念総会です。
ふるってご参加ください。

日時 2018年6月9日(土)
15時より

場所 小田急ホテルセンチュリーサザンタワー
(新宿駅南口より徒歩5分)

会費納入のお願い

白門48会は本年創立20年目を迎え、年間を通して全会員を対象にした同好会活動や懇親会活動を柱に、活発な活動を展開しております。その活動助成やご案内、会報の発行、ホームページの更新など会の財政運営は会員の皆様の会費によってまか

なわれています。前前年の総会では会則の一部を改正し、一括前納制度を改め、逐年ごとに会費を納入いただくよう変更いたしました。前納分が終了した方から順次ご案内をいたしておりますので、各年度の会費(3000円/年)として入金していただくようお願い申し上げます。

厳しい経済状況のおり、まことに恐縮ですが、ご賢察のうえ格段のご配慮をいただきたく、よろしくようお願い申し上げます。

幹事長

佐藤 愛子

〒192-0351
東京都八王子市東中野228-1101
TEL & FAX: 042-679-3329
携帯電話: 090-4098-7379
Eメール: ai-mimo.310.dm
@amber.plala.or.jp

白門48会
連絡先